

平成30年度 栗東市立図書館基本的運営方針に定める目標値に対する評価一覧

	目標項目	平成29年度	現在値 (平成30年度)	目標値 (令和3年度)	方針での 該当箇所	取組方法	課題・問題等	自己評価	備考	外部の意見
1	年間の図書館利用登録者数	1,961人	1,844人	2,050人	① ②	利用啓発(市広報、HP) 来館のきっかけとなる行事の実施	未登録者に対して図書館へ行きたいと思わせる行事、広報活動を実施する必要がある。	2		他団体と連携し、図書館に来られていない層にもPRできる効果的な事業の実施に努められたい。
2	図書館実利用者数	16,695人	15,584人	19,000人	① ②	利用啓発、行事広報	図書館へ行きたいと思わせる広報活動を実施する必要がある。	2		市の人口の世代構成の変化にも目配りを願いたい。
3	図書館実利用率	24.40%	22.60%	28.20%	① ②	利用啓発、行事広報	図書館へ行きたいと思わせる広報活動を実施する必要がある。	2		ターゲットを明確にし、効果的な事業・PRの実施に努められたい。
4	年間貸出冊数	630,862冊	600,638冊	700,000冊	① ②	利用啓発、開館日・貸出冊数拡大検討	利用啓発ならびに開館日・貸出冊数の拡大を実施する必要がある。	2		インターネットの普及など、情報環境が変化しており、貸出冊数の増加は難しいのではないかと。情勢にあわせて、目標を見直すことも検討されたい。
5	市民一人当たりの年間貸出冊数	9.2冊	8.7冊	10.4冊	① ②	利用啓発、魅力ある書棚づくりのための書架構成の見直し、展示等による図書紹介の見直し	読みたい本と出会える魅力のある書棚・展示にする必要がある。	2		子ども世代の将来の利用へ繋がるよう、読書体験・図書館体験の充実を図られたい。
6	おはなし会の参加人数	810人	723人	800人	③ ⑤	サービス対象者への広報	おはなし会を知ってもらうために効果的な広報活動を行う必要がある。	2		
7	障がい者サービス利用人数	10人	13人	20人	⑤ ⑥	サービス対象者への広報	市担当課との連携により対象者に図書館利用への興味を持ってもらう必要がある。	2		サービスの周知に努め、一層の利用増に努められたい。
8	専門職員の司書資格者の割合	100%	94%	100%	① ②	司書によるレファレンス、各種講座の実施、認知度の向上	司書によるレファレンス他、司書の働きについて知ってもらう必要がある。	2		
9	年間蔵書購入冊数	10,021冊	9,866冊	11,000冊	① ②	購入計画に基づいた選定、購入	購入計画の実施、必要に応じた見直しを行い、最も適正な資料購入を行う必要がある。図書価格の上昇により、資料費の見直しが必要である。	3		予算確保により達成できる項目であり、しっかりと取り組んでほしい。
10	図書回転率	2.1回	2.1回	2.3回	① ②	利用ニーズに合わせた資料選定 展示等による資料の紹介	利用ニーズに合わせた資料選定を行う必要がある。興味をひく本に出会える魅力ある展示を実施する必要がある。	2		
11	郷土資料の収集冊数	209冊	159冊	—	④	市役所担当課への依頼、広報 出版情報の収集	市役所担当課への依頼及び郷土資料情報の収集を行う。	3		

項目11については、目標値に含まれてはいないが、基本的運営方針項目の評価数値として列記している。

方針での該当箇所は下記の栗東市立図書館基本的運営方針の基本運営方針6項目

- ①市民一人ひとりの生涯学習を支えます
- ②暮らしや仕事の課題解決を支援します
- ③学校、家庭、地域と連携して子どもの読書活動を推進します
- ④郷土の歴史や行政資料を収集、保存、提供します
- ⑤市民との協働により、図書館運営や活動の充実に努めます
- ⑥図書館利用が困難な人を支援します。

※ 令和3年度まで評価をおこなう

※ 内部の評価後、図書館協議会に外部評価を実施してもらう。

評価基準

5	当初設定した目標を著しく上回る成果をもって達成
4	当初設定した目標を上回る成果をもって達成
3	当初設定した目標を概ね計画どおりに達成
2	当初設定した目標を未達成
1	当初設定した目標を著しく未達成